



極真への道

第5号



(第2回オープントーナメント愛媛県空手道選手権大会)

国際空手道連盟 社団法人 極真会館 愛媛県戸田道場 機関誌

A l l J a p a n K y o k u s h i n U n i o n

「第2回愛媛県大会の開催」

～志賀選手ついに全日本無差別入賞～

国際空手道連盟 社団法人極真会館（全日本極真連合会）

愛媛県戸田道場 師範 戸田美智男

新しい年を迎え、機関紙第5号を発刊し、昨年後半6ヶ月間の活動をお知らせ致します。

昨年のもも大きな出来事は、「第2回オープントーナメント愛媛県空手道選手権大会」を9月23日秋分の日松山市総合コミュニティセンターメインホールにて開催したことでないでしょうか。

大会規模、試合レベルと一昨年の大会に比べて格段に高くなり大成功だったのではないかと考えています。

選手の内、半数近くの約80人が愛媛県以外の方々だったことが示すように、本大会がグランドチャンピオン大会指定になったことがレベルの高さの大きな原因の一つだと考えられます。

また、一般上級の部において今年のウェイト制全日本大会重量級優勝者である、極真会館関西総本部の金鐘吉（キム ジョングル）選手を初め強豪選手の参戦があり、また少年部も全国から各流派のチャンピオンクラスが参戦してハイレベルな白熱した試合が繰り広げられました。

その日の夕方、「あいテレビ」のニュースで大会の様子が放映されましたが、フルコンタクト空手の試合がニュースで流れるなど珍しいことでした。

また、11月2日の日曜日に、同じく「あいテレビ」で1時間に亘るドラマチックな編集の中継放送があり、放送終了後に私の携帯電話が鳴りやまないくらい沢山のメールや電話をいただくなど、視聴した方々から本当に大きな反響が寄せられました。

白熱した試合を見た県民にフルコンタクト空手の素晴らしさ、そして極真空手の強さを印象付け「栄えある大会開催」が実現できたのではないかと考えています。

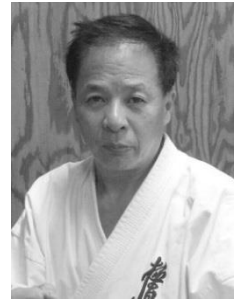
今後もテレビ中継は継続していくつもりです。

また、戸田道場からは毎週のように極真会館や他流派の大会に出場していますが、最近になって成績の上昇が顕著になり、特に6月に大阪府立体育館で行われた第30回全日本ウェイト制大会では重量級の志賀選手がついにベスト8に入賞し、さらに続く8月の香川県大会では念願の優勝を成し遂げました。

さらに愛媛県大会では準優勝でしたが、続く10月26日に開催された第31回拳武道会館全日本大会の重量級でも優勝し、その強さはずば抜けてきました。

そして、ついに志賀選手は11月16日に東京スポーツ文化館で行われた無差別の全日本大会で7位に入賞するという快挙を成し遂げたのです。

この入賞は、来年の世界大会への出場が希望できるレベルのものです。



また、少年部の各種大会での入賞も激増しており、特に来年6月に大阪で行われる全日本少年少女空手道選手権大会(グランドチャンピオン大会)に香川・愛媛県の両大会により7人が出場権利を得ており、志賀選手に続く小・中・高校生にも時代を担う者たちが目白押しであり本当に楽しみです。

まだまだ道半ばですが、栄えある大会を開催すると共に強い選手を育てるという二つの課題を何とか実現できつつあります。

今後も確実な組織運営を行い、更に良い成績を残せるように選手のサポートをしっかりと行いたいと思っていますのでご支援をお願い致します。

拳剛会館西日本大会

7月13日(日)新居浜山根体育館で拳剛会館主催の西日本大会が行われ、戸田道場から今治常盤道場、新居浜川東道場、本部道場から10人の選手が出場した。小学5年生男子の部に出場した、川東道場の白鳥光希選手が積極的な攻撃をして第3位に入賞しました。

残念ながら他の選手の入賞はなく、他流派の大会では、一本や技ありなど、圧倒的な強さを示さないと勝てないことを痛感しました。



戸田師範 厳しい山形修行

戸田師範は7月18日から3日間、山形県の田畑道場に赴き、田畑繁師範の元で厳しい指導を受けました。田畑師範は大山総裁の内弟子を3年間行い、その後総本部で4年間指導員をされた、まさしく大山総裁の直弟子です。戸田道場の目的の一つである「大山総裁の創られた極真空手の正しい継承」ということを実現するために、戸田師範自らが厳しい修行をするために訪れたのでした。

3日間で一般稽古2回、少年部稽古1回、大山総裁時代と全く変わらないという稽古に参加し、田畑師範の指導を受けました。

山形県内から集まった、師範代や支部長と一緒に全力で稽古に集中し、厳しくも暖かい田畑師範の指導の下、稽古をやり遂げました。

田畑師範は奥様と共に、山寺や蔵王に連れて行って下さり、夜は連日酒宴を開いて歓待して下さいました。

3日間という短い期間でしたが、戸田師範にとって、いや戸田道場にとって大切な宝となる修行でした。



平成26年度夏合宿

7月26日(土)、27日(日)の両日、大洲青少年交流の家で夏合宿を実施しました。120人を越える参加者数は過去最高でした。この日何と大洲は最高温度37.2度という記録的な暑さで、稽古をする体育館の中は窓を開け、扇風機をフル回転させてもまるで蒸し風呂の中にいるような暑さでした。熱中症になっては大変と、短時間で休憩を取り水分補給を頻繁に行ったお蔭で、一人も気分の悪くなる者はいませんでした。そんな中、基本、移動、投げ、型そして受け返しの後、スパーリングを10ラウンドもこなしました。

夜は恒例の一般部は酒行、少年部はトランプゲームをして親交を深めました。翌日の早朝稽古は暑さも和らいでいたので、型の復讐、ミット稽古を気合いを入れて行いました。そして午前中の3回目の稽古はバスで肱川河原に行き、足を川に浸けての千本突きを行った後、子供たちが楽しみにしていたスイカ割りを各道場の代表者が行い、河原は大きな笑い声で包まれました。昼食後は愛媛県大会で行う少年部演武の稽古を西条道場の榎先生の指導でみっちり行い、厳しくも楽しい合宿を終えました。





(2014年 夏合宿 集合写真)

香川県大会 志賀選手念願の優勝

8月17日(日)に極真会館桑島道場主催の香川県大会が高松市で行われ、戸田道場から14人が出場しました。一般上級の部では西条道場の志賀賢一選手が勝ち上がり、決勝で香川の原選手と当たり、接戦の末、3-0で優勢勝ちとなり嬉しい初優勝となりました。その他小学5年生男子の部 松井弥陸(常盤)、中学生女子の部 国本明佳(常盤)、高校男子の部 小宮悠史(常盤)が優勝したほか下記の選手が入賞し、戸田道場の強さを示しました。

他入賞者 小学3年の部 第3位 松井瞭誠(常盤)、小学5年男子の部 第3位 遠山卓杜(常盤) 高校男子の部 2位 櫻井隼斗(川東) 一般上級の部 敢闘賞 石川健司郎(常盤)



第5回強化稽古

愛媛県大会に備え、今年5回目となる選手強化稽古が8月24日(日)に本部道場で行われました。

各道場から、少年部、一般部あわせて24人の選手が集まり、熱い中稽古に取り組みました。

最初は正拳突き、鍵突き、下突き、上突きなどの月技に膝蹴りを交えたコンビネーションを繰り返し行い、次に回り込みを中心にしたステップを稽古しました。さらにLLミットを使って突きと各種蹴り技を行った後、ビッグミット相手に激しい攻撃を稽古しました。最後に受け返しをした後、5ラウンドのスパリングをして強化稽古を締めくくりました。



松井弥陸選手強化選手に指定

8月24日(日)に開催された本部道場での道場責任者会議において、本年3月に開催された大洲少年大会、8月に開催された香川県大会において優勝した今治常盤道場の小学5年生 松井弥陸4級が戸田道場の強化選手指定が決まりました。強化選手は1年半前に西条道場の志賀賢一2段が指定されて以来、2人目であり今後の活躍が期待されています。

白鷺杯ライオンズカップ16名出場

8月31日(日)に愛媛県武道館において開催された「白鷺杯ライオンズカップ」に戸田道場から本部道場、大洲教室、波方道場から合計16名が出場しました。この大会は白鷺ライオンズクラブが主催し、如水会館が運営するもので中四国を中心に250人が出場した。下段蹴りが禁止されるなど、やや極真ルールと異なることから戸田道場出場選手には戸惑いもあったのか入賞できませんでした。



第2回愛媛県大会

10月23日秋分の日に松山市総合コミュニティセンターにおいて、「第2回オープントーナメント愛媛県空手道選手権大会」が華やかに開催されました。

県大会というものの、関西圏を中心に東は東京、横浜、西は沖縄県石垣島から35会派194人の強豪選手が集まり、熱戦を繰り広げました。

一般上級の部は、今年6月に行われたウェイト制全日本大会重量級優勝者の金鐘吉選手（極真会館関西総本部）が地元愛媛の志賀賢一選手を3対1の僅差の判定で破り、初優勝を成し遂げました。

大会の様子は11月2日（日）午後2時から約1時間あいテレビ（TBS系列）で放送され、愛媛県のフルコンタクト空手界を震撼させるくらい大きな反響が起きました。

テレビ中継は、フルコンタクト空手のメジャー化のために、来年も毎年行う予定です。

【戸田道場入賞者】

小学3年の部 第2位 扇山明直（波方）、小学5年男子の部 第3位 遠山卓杜（常盤）
小学5年女子の部 2位 近藤さやの（本部） 中学生女子の部優勝 国本明佳（常盤）、
高校男子の部優勝 小宮悠史（常盤） 同2位 櫻井隼斗（川東） 壮年の部 優勝 田中雅史（常盤）
同4位 河田泰実（本部） 一般上級の部 2位 志賀賢一（西条） 同4位 神原敏行（常盤）



強化選手に4人指定

10月19日に行われた道場責任者会議において「強化選手」の指定について話し合われ、協議の結果中学校女子 国本明佳選手、高校男子 小宮悠史選手（以上常盤道場）、高校男子 櫻井隼人選手（川東道場） 小学5年女子 近藤さやの選手（本部道場）の4人が新たに指定されることになりました。国本選手と小宮選手はいずれも香川県大会、愛媛県大会を連続優勝、櫻井選手は香川大会、愛媛県大会共に準優勝、近藤選手は第1回愛媛県大会優勝、昨年の大洲少年大会、愛媛県大会共に準優勝という優秀な成績をあげたことにより指定されました。

既に志賀賢一選手（西条道場 一般）、松井弥陸選手（常盤道場小学5年男子）が指定されています。

強化選手に指定されますと、

○合宿費用の免除 ○全日本大会の旅費の一部支援 ○極真会館の大会出場料の支援 ○全日本大会前の激励会の実施

などのサポートをして、物心両面において稽古に集中できる環境を作ろうとするもので加盟する各道場は毎月一定の支援金を負担し、その他入門料の一部やグッズ販売の利益などで財源を作り支援金に充てています。

また、その資金は他県へ派遣される審判の旅費の一部にも支出されています。

今後、もっと多くの選手が強化選手に指定されることを目指し、選手の方々が各種大会で良い成績をあげることが期待されています。

10月昇級審査

10月19日(日)に坊ちゃん球場スポーツフロアBにおいて、10月昇級審査が行われ、少年部26人、一般部21人の合計47人が受審しました。

特に目立ったのは白帯が18人もいたことで、今年前半半年間の各道場の新規入門者合計数が50人を越えており、その方達の一部が初の審査を受けるまでになったことを表していました。

全体的に技の上達が見て取れ、上級を除く多くの人が飛び級しました。

【少年部】10級 菊地涼粋(大洲)、中西健(常盤) 9級 新田恭一郎(本部)、藤岡享也(本部) 8級 大西楓(西条)、半川周翔(西条)、山下駿(常盤)、真鍋瑛太(川東) 村上幸成(常盤)、寒作円(本部)、福岡陽澄(本部)、丸山晃成(大洲)、菊川明孝(桜井) 7級 垣本咲野(波方)、三宅愛(波方)、二宮快地(本部) 6級 木原晴菜(波方) 5級 菊川姫梨(常盤)、野村楓利(波方)、福岡洗大(本部) 4級 池川晃太(川東)、曾我部彩葵(川東)、日下承竜(波方)、河田航太郎(本部)、林建作(本部) 1級 遠山卓杜(常盤)

【一般部】9級 進藤大(川東)、高橋武(川東)、藤田雄大(川東)、藤田愛加(川東)、相原博(西条)、相原美保(西条)、相原ひかり(西条)、相原大地(西条)、相原泉(西条)、伊藤友紀子(本部)、右近勝夫(本部) 6級 菊川智鈴(常盤) 5級 松井志輔(波方) 3級 藤原弘之(川東)、白鳥美月(川東)、伊東晶子(川東) 2級 八木聖矢(波方)、丸山哲也(大洲) 1級 菊地暢智(西条)、木原康文(波方)



多数参加 合同強化稽古

2014年10月19日（日）

本部（潮見）道場にて今年中に開催される各大会に向けて午後3時半から2時間、合同強化稽古を行いました。約40名という大勢の参加者がありましたが、その中には午前中の昇級審査を受審した人も多く、審査の疲れがあるにもかかわらず過酷な稽古に参加して強くなりたい、という心に感動させられ今後の大会成績に期待が持てました。



全日本ウェイト制拳武道選手権大会～志賀選手優勝～

平成26年10月26日に新居浜市民体育館にて第31回全日本ウェイト制オープントーナメント拳武道選手権大会が開催されました。極真会館愛媛県戸田道場からは3人の拳士が出場し良い経験をさせていただきました。

本大会において、我が道場の志賀賢一選手が重量級にて念願の初優勝を果たす事ができました。志賀選手においては、来月開催される極真会館無差別級の全日本大会に出場予定であり、「本大会での優勝者である事に誇りを持ち、戸田師範、田中館長に恥ずかしくない戦いをしたい。」との事でした。

田中館長をはじめ、本大会に出場された選手の皆様、応援された皆様、スタッフの皆様の

全ての皆様に感謝いたします。



大きな反響県大会テレビ放映

11月2日（日）の午後2時から、あいテレビにて第2回オープントーナメント愛媛県空手道選手権大会の番組が放映されました。愛媛新聞のテレビ欄にも紹介され、多くの方々にご視聴いただきました。戸田師範が解説を行い、試合の内容がよく分かったと好評であった他、久々のフルコンタクト空手大会の放映であり、多くの反響があり驚きと感動が広がりました。今後も多くの選手の目標となる、すばらしい大会を開催できるようがんばっていきたいと思います。



全日本拳剛会館選手権大会

～青野先生壮年部優勝～

11月16日（日）に第23回 全日本拳剛会館空手道選手権大会が四国中央市アリーナ土居にて開催され、戸田道場から出場した新居浜川東道場の青野大輔先生が壮年35歳以上の部で優勝し、櫻井隼斗選手は高校生でありながら一般軽中量の部に出場し、見事準優勝しました。その他、小学3年生の部で常盤道場の神原僚太選手が3位に入賞しました。



第46回全日本空手道選手権大会

～志賀選手7位・村上選手壮年A3位入賞～

11月16日（日曜日）に第46回全日本空手道選手権大会が東京スポーツ文化館にて開催されました。戸田道場からも4名が出場し、ついに一般男子無差別級で西条壬生川道場の志賀選手が激戦を勝ち抜き7位に入賞しました。また、壮年男子（40歳代）無差別級で今治常盤道場の村上選手が気力をふりしぼり3位に入賞するという、素晴らしい成績を残しました。



極真カラテ2014中四国交流大会

～入賞10人・5人優勝～

11月24日に香川県桑島道場主催の極真カラテ2014全中四国交流大会が高松市西部運動センター体育館にて開催されました。戸田道場からも16人が出場し、そのうち10人が入賞し強さをアピールしました。

以下戸田道場の入賞者一覧です。（敬称略）

- 一般初・中級軽量の部 優勝 藤原弘之（川東）
- 小学2年初級の部 優勝 松井瞭誠（常盤）
- 小学2年中・上級の部 優勝 山下 駿（常盤）
- 小学4年男子初級の部 準優勝 鏡原琢矢（常盤）
- 小学4年男子中・上級の部 優勝 山下 凌（常盤）
- 小学5年男子初級の部 優勝 菊川明孝（桜井）
- 小学5年男子中・上級の部 優勝 岡銀冶郎（潮見）
- 小学5年男子中・上級の部 準優勝 遠山卓杜（常盤）
- 小学5年男子中・上級の部 3位 松井弥陸（常盤）
- 小学1年生の部 敢闘賞 池田翔真（常盤）



正道会館

12月7日（日）に伊予市のウェルピア伊予で正道会館主催の第17回愛媛県少年空手道選手権大会及び第16回四国新人戦空手道選手権大会が開催されました。戸田道場は初めて参加し14人が出場し、優勝3人を含む9人が入賞しました。特に新人戦上級の部では常盤道場の石川選手が決勝戦で1本勝ちをするなど大活躍をしました。

入賞者は下記の通りです。（敬称略）

○小学二年生ニュージェネレーションクラス

優勝 山下駿

準優勝 松井瞭誠

○小学四年生チャレンジクラス

準優勝 鏡原琢矢

○小学四年生チャンピオンクラス

準優勝 山下凌

○小学五年生男子チャンピオンクラス

優勝 岡銀治郎

準優勝 松井弥陸

○小学五・六年生チャレンジクラス

準優勝 高橋みのり

○一般女子クラス

準優勝 菊川智鈴

○一般男子Aクラス

優勝 石川健司郎



第3回部内交流大会

12月14日（日曜日）に西条市丹原体育館にて「第3回極真会館愛媛県戸田道場交流試合」を開催しました。型と組手に合わせて110人が出場しました。この大会は選手の底辺を広げるという趣旨で、組手の部は過去3年間の各種大会入賞者は出場できないことにしました。また、幼年の部も初めて設置され、小さい子から一般部までの道場生が稽古の成果を競い合いました。

以下入賞者一覧です。（敬称略）

【型の部】

（幼年）優勝 寒作 円（潮見） 準優勝 福岡 陽澄（潮見） 3位 伊藤 銀河（潮見）

4位 渡辺 葵（波方）

（低学年初級）優勝 水戸川怜斗（波方） 準優勝 富岡優斗（潮見） 3位 山下駿（常盤）

4位 宇高悠斗（潮見）

（低学年上級）優勝 福岡洸大（潮見） 準優勝 河田航太郎（潮見） 3位 松井瞭誠（常盤）

4位 久保幸輝（大洲）

（高学年初級）優勝 渡辺晶（波方） 準優勝 矢野仁（波方） 3位 松井亮諭（波方）

4位 木原晴菜（波方）

(高学年上級) 優勝 久保晴輝 (大洲) 準優勝 菊川真莉紗 (波方) 3位 高瀬 晴 (西条)
 4位 遠山卓杜 (常盤)
 (一般女子) 優勝 松井佑衣 (波方) 準優勝 菊川姫梨 (波方) 3位 菊川智鈴 (常盤)
 4位 伊藤友紀子 (潮見)
 (一般男子) 優勝 菊川豊 (波方) 準優勝 武内悠大 (波方) 3位 宮崎大希 (波方)
 4位 岡山拓未 (波方)

【組手の部】

(幼年) 優勝 寒作 円 (潮見) 準優勝 真鍋 瑛太 (川東)
 (小学1年生) 優勝 越智 和 (常盤) 準優勝 池田 翔真 (常盤)
 (小学2年生) 優勝 矢野 京香 (川東) 準優勝 秦 友輝 (川東) 3位 高瀬 快 (西条)
 4位 宇高 悠斗 (潮見)
 (小学3年生) 優勝 河田航太郎 (潮見) 準優勝 久保幸輝 (大洲) 3位 富岡優斗 (潮見)
 4位 神原雅斗 (常盤)
 (小学4年生) 優勝 神原 僚太 (常盤) 準優勝 鏡原 琢也 (常盤)
 (小学5年生) 優勝 白鳥 光希 (川東) 準優勝 久保 晴輝 (大洲)
 (小学6年生) 優勝 日下 丞竜 (波方) 準優勝 水戸川琉希 (波方)
 (中学生男子) 優勝 橋田 虎之介 (常盤) 準優勝 伊藤 治人 (川東)
 (高校生男子) 優勝 濱井 勇志 (川東) 準優勝 直野 天佑 (川東)
 (一般女子) 優勝 小宮 舞永 (常盤)
 (壮年) 優勝 丹下 英人 (潮見) 準優勝 松井 志輔 (波方)
 (一般初級) 優勝 宮田 直史 (潮見)
 (一般上級) 優勝 山下 学 (常盤) 準優勝 菊川 豊 (波方)

